



栗東市農業協同組合
代表理事組合長

佐野 宗 二

ごあいさつ

組合員の皆様には、平素からJA栗東市の事業全般に亘り多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

JA栗東市においては、去る6月24日の第52回通常総代会を開催いたしましたところ、全提出議案において可決承認をいただき重ねて御礼申し上げます。

さて、農業・農協を取り巻く環境は日増しに厳しくなり、政府が掲げる農業改革のもと農業者の所得増大に向けた取組みを進めていますが、農家の高齢化や担い手不足に伴う就農者人口の減少などの喫緊の課題も抱えており、早急な対策が必要な状況であります。また、主要農産物種子法の廃止や日欧EPAの合意、米国が求める二国間貿易交渉等、国内農業に大きな影響を与える可能性もあり、農業生産者にとって将来展望を不安視する状況であります。

一方、金融市場では平成28年2月に導入された日銀によるマイナス金利政策により、長期金利は歴史的低水準で推移しており、金融機関の経営に多大な影響を与えております。

このような状況下において、私たちJA役職員は「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として農業所得の増大、地域の活性化の実現に向け、組合員と地域社会から期待される役割を發揮すべく自己改革に努めて参る所存であります。

平成28年度決算結果については、当期末処分剰余金3億70百万円を確保することが出来ました。剰余金処分については、本年度も出資配当を1.5%、事業分量配当に総額2,246万円の配当としてご承認いただきました。

平成29年度においても、一層厳しい経営環境となりますが、役員改選初年度でもあり、理事会のより活性化と役職員の危機意識の共有化に努め、組合員の皆様の期待に応えるべくより透明性の高い現況報告と、コンプライアンス（法令等遵守）の徹底、不祥事未然防止に努めて参ります。

結びに組合員ご家族の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますと共に、今後とも変わらぬご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

